



車で来られる方へ

- 〈大阪方面から〉
- ・第二阪奈有料道路中町ランプ下り出口右折（有料道路を利用される場合）
 - ・阪奈道路三碓ICから県道7号線（枚方大和郡山線）ハモイケ橋東詰交差点を左折
- 〈学園前方面から〉
- ・県道7号線（枚方大和郡山線）ハモイケ橋東詰交差点を左折
- 〈奈良方面から〉
- ・国道24号西九条町南交差点から県道7号線（枚方大和郡山線）城町中交差点を右折
- 〈郡山方面、国道25号線から〉
- ・国道25号今国府町交差点から都市計画道路大和中央道（大和郡山環状線）を北進

バスで来られる方へ

- ・近鉄学園前駅～ 所要時間25分
- ・近鉄西ノ京駅～ 所要時間15分
- ・近鉄郡山駅 ～ 所要時間10分
- ・近鉄奈良駅 ～ 所要時間35分
- ・J R奈良駅 ～ 所要時間30分

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県総合医療センター
 Nara Prefecture General Medical Center

TEL 0742-46-6001

〒630-8581 奈良市七条西町2丁目897-5
<http://www.nara-hp.jp/>

診療受付日 月曜日～金曜日（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

受付時間 午前8時30分～午前11時00分



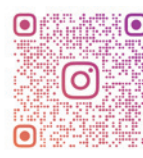
Webサイト



Google ストリートビュー



YouTube



NARA.SOCO.MEDICAL.CENTER

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県総合医療センター
 Nara Prefecture General Medical Center



QMS
 JIS Q 9001
 JSAQ 2862

「医療サービスの提供」



MS
 CM001

DPC特定病院群 奈良県総合医療センター 病院のご案内



“医の心と技”を最高レベルに磨き、
 県民の健康を生涯にわたって支え続けます

Nara Prefecture General Medical Center

2025.12.01発行



ごあいさつ

奈良県総合医療センターは県庁所在地である奈良市に位置する奈良県の基幹病院として、当初は 1964 年に奈良県立医科大学附属奈良病院として設立され、1975 年に総合病院として独立して県立奈良病院となり、2014 年からは地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県総合医療センターとなりました。2018 年に新築された高機能で快適な空間を有する新病院は、最新の医療機器を備えており、高度医療に対応すべく、各領域の高い技量を備えた医師、ならびに医療スタッフが診療に従事しております。皆さまの信頼を得て、県内外より毎日たくさんの患者さんに訪れていただき、高難度手術、がん治療を含む高度医療に加え、救急医療、周産期医療、小児医療等、幅広い役割を担っております。

当センターが大切にしていることは、都会の大病院に行かずとも、この奈良の地でその時々における最高の治療を県民の皆様が受けられるよう高い診療レベルを維持し、患者さんに選ばれる病院であり続けることです。高い診療レベルを維持することはどんな状況であっても譲ることのできない当センターの方針です。最も大切な目標は患者さんとそのご家族により良い医療を提供して満足していただくことであり、職員の一人一人がその意識で医療に取り組んで参ります。その結果として県民の皆様は民意として当センターの存在意義を感じていただき、そのお気持ち

が当センターを支えてくれるものと信じております。

院長として全てのことに全力で取り組むとともに、これからも外科医として皆さまの健康と安心のために現場に立ち続け、力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い致します。

院長 高 濟峯

地域医療を支える7つの柱

1. 救急医療の充実

急性期医療の充実
集中治療部門の強化

2. 周産期医療の充実

糖尿病や高血圧症等の
高リスク妊婦に対応した
周産期医療の充実

3.

専門的な質の高いがん医療の提供

高度放射線治療装置の設置
化学療法室の拡充

4.小児医療

小児救急
受け入れ体制の充実

5.糖尿病治療

急性合併症、
急性増悪時治療の充実

6.精神医療

精神病床の設置

7.災害医療

災害時においても
病院機能を維持する
災害に強い病院

診療科

医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針

呼吸器内科

循環器内科

消化器内科

血液・腫瘍内科

糖尿病・内分泌内科

腎臓内科

脳神経内科

感染症内科

緩和ケア内科

呼吸器外科

心臓血管外科

消化器・肝臓・胆のう・膵臓外科

乳腺外科

小児外科

整形外科

脊椎脊髄外科※

脳神経外科

形成外科

頭頸部外科

精神科

小児科

皮膚科

泌尿器科

産科

婦人科

眼科

耳鼻いんこう科

リハビリテーション科

放射線診断科

放射線治療科

病理診断科

麻酔科

救急科

総合診療科※

小児泌尿器科

小児脳神経外科

口腔外科

集中治療科※

※脊椎脊髄外科、総合診療科、集中治療科は院内標榜診療科

■沿革

1964年 4月 1日	前身である奈良県立医科大学附属奈良病院の診療開始
1977年10月 8日	奈良県立奈良病院での外来診療を開始
1982年 9月20日	救命救急センター棟竣工
1995年12月20日	周産期医療センター開設
1996年11月28日	災害拠点病院（北和保健医療圏の地域災害医療センター）に指定される
2003年 4月 1日	へき地医療拠点病院に指定される
2010年 4月 1日	周産期母子医療センター、医療安全推進室、感染対策室、相談支援室開設
2012年 8月10日	地域医療支援病院に承認される
2014年 4月 1日	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センターとなる
2015年 5月 9日	奈良市七条西町において新奈良県総合医療センターの起工式を挙行
2018年 5月 1日	新奈良県総合医療センター移転開院／ドクターヘリ受入開始
2019年 4月 8日	ISO9001認証取得
2020年 4月 1日	DPC特定病院群認定
2020年 4月 9日	新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定される
2024年12月20日	ISO15189認証取得（臨床検査室）

■許可病床数 540床

2025.12.1 現在／運用病床数 492床（ICU 10床、HCU 30床、NICU・GCU 24床、SCU 9床）

■医師数

2025.12.1 現在／常勤医師 265人（研修医含む）

■土地及び建物の概要／

S造 一部SRC造及びRC造 基礎免震構造
建築面積 14,114.46㎡ 延床面積 67,791.97㎡ 駐車場 540台

■看護基準／7：1



各種センター



高度医療機器

救急・集中治療センター

当院の理念である救急医療の充実のため「断らない救急」の実現に向かって、医師をはじめとする多くの医療スタッフが携わり運営しています。ER体制に基づき2次救急から3次救急すべてに対応し、ICUと連携して重症疾患（多発外傷、重症呼吸器疾患、急性腹症、敗血症、熱傷等）の治療を積極的に行っています。ドクターヘリの受け入れ、災害医療にも力を注ぎ、スタッフが一丸となり、知識、技術の向上を目指して努力しています。

集学的がん治療センター

がんに対する先進的外科手術、化学療法、放射線療法などの治療を診療科横断的に統括する役割を担っています。加えて、地域がん診療連携拠点病院として、がんのゲノム医療のための遺伝カウンセリング室、がん相談支援室、緩和ケア支援室を設置してがん治療に全人的に対応しています。奈良県におけるがん治療の中心的施設としての役割を果たすべくがん患者さんにとって最適な治療を提供できるよう日々実践しています。

心臓血管センター

心臓と血管の疾患に対する診療において、循環器内科と心臓血管外科、医師と他職種といった旧来の壁を排除し、真のチーム医療を徹底するために設置いたしました。循環器疾患は、断らない救急医療の実践が不可欠です。チーム医療で高度な循環器診療を実践します。

脳神経センター

脳神経内科、脳神経外科及び放射線科（神経放射線）が緊密に連携して、様々な脳神経の病気に悩んでおられる患者さんを迅速に診断して最善の治療を行います。当施設は奈良県の基幹センターとしてすべての神経疾患に対応できる体制を整え地域と県民の健康を守ります。2022年度よりSCUを設置し24時間専門医が常駐し、脳卒中に対する診断・治療体制を整えています。

周産期母子医療センター

産科外来、GCU・NICU、分娩室・LDR・MFICUそして産科病室が一連に配置され、迅速かつ適切な緊急対応が可能となっています。切迫早産などのハイリスク妊娠の周産期管理に重点を置いています。母体搬送は奈良県内全体および京都府南部から受け入れており、県内総依頼数の過半数を担っています。

消化器センター

先進的で質の高い消化器病診療を実現するために、関連する専門家集団が一体となって一貫性と総合性を持った患者さん中心の診療を行うとともに、研究と教育および専門家の育成を目的として設立されています。内科医・外科医・放射線科医がひとつの消化器チームとして緊密に連携し、多岐にわたる消化器疾患を迅速かつ確に診断して最善の治療を行います。私たちは奈良県の基幹医療センターとして多種多様な消化器疾患に対応できる体制を整え、県民の皆様のご要望にお答えしながら、第一線の消化器病診療を推進して参ります。

小児センター

専門性の高い小児医療を提供するため、2024年10月に小児センターを開設しました。小児科・小児外科をはじめ、小児脳神経外科、小児泌尿器科、ER、ICU、NICUが密に連携し、新生児から15歳までの幅広い疾患に対応します。また、周産期センターとも協力し、生まれる前からの一貫した医療を提供します。小児の外科系疾患を中心に小児の救急医療への対応をすすめるとともに地域医療機関との連携を強化し、トリアージ体制を整え、奈良県の小児医療の充実に貢献してまいります。



血管撮影装置（パイプレン）



Spectral CT 7500



MRI



放射線治療装置 (Versa HD)



手術支援ロボット ダヴィンチXi



PET-CT



ハイブリッド手術室



多目的X線TVシステム



外来エリア

病棟

開放的で広い外来エリア

1階エントランスは、3層吹き抜けのガラスウォールから、自然光を取り入れた広く開放的な空間になっています。エントランス奥には、総合受付と会計窓口があり、エントランスのエスカレーターを2階に上ると、広々とした中央ホールを挟んで、両側に外来エリアが並んでいます。2階からエレベーターで3階に上がると2階と同じくブロックごとに広く落ち着いた待合のある外来エリアが広がっています。新センターから導入した患者呼出機により、患者さんは呼び出しがあるまでは、中央ホール、コンビニ、カフェやレストランなど院内の好きな場所で待つことが可能です。



患者呼出機



到着確認機



再来受付自動発行機



1F 総合受付



外来待合スペース



医療費自動精算機



4床室



個室



各病室にトイレ、洗面台、シャワーを設置



床頭台(リストバンドで棚の施錠可能)



特別個室



デイコーナー

全室南向きの明るい病室

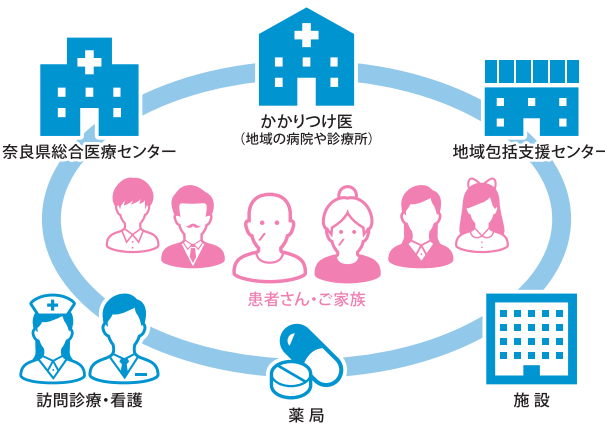
緑に囲まれた建物は、病室を全室南向きに配置し、あふれる自然光と美しい眺望が開け、やすらぎのある療養環境を創り出しています。病室は主に4床室と個室からなり、4床室は広いスペースを確保し、個室の数も増室しました。ベッドサイドには、TV／映画の鑑賞、その日の献立確認、リストバンドで施錠可能な床頭台を設置しています。病棟の中央にはスタッフステーションが位置しており、壁のないオープンスペースのため、病室との距離も短く入院患者やその家族が接しやすくなっています。各病棟フロア中央には、広く開放的なデイコーナーを設置しており、窓からは大和郡山市内が一望でき、眼下には緑地広場が広がっています。



地域医療連携について

地域医療施設等と連携し、患者さんの受診や入院に関する支援、調整を行います

地域医療連携室は、「当院と地域の医療機関・施設をつなぐ」重要な役割を担っています。かかりつけ医や病院と相互に連携し、急性期の医療を必要とする患者さんの受け入れを調整します。入院中の患者さんが当院の治療を終了し、さらに継続して療養が必要な場合には転院調整を行います。行政や保健医療サービス、福祉サービスとの連携が必要と判断した場合には、情報提供を含めた支援を行うなど、切れ目のない医療提供を行っています。当院に入院、通院されている患者さん、ご家族が安心して医療・看護が受けられるよう、専門職スタッフおよび地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携を取りながら、相談や支援をさせていただきます。



がん相談支援センター

がんに関する迷いや悩みを私たちにご相談ください

がん患者さんご本人、ご家族、そして支えるすべての方へ。
ご相談は無料。匿名でも大丈夫。専門のスタッフがあなたの「話したい」気持ちに寄り添います。まずはお気軽にご連絡ください。

- ①面談・電話の個別相談 ②お金と仕事 社会保険労務士相談会
- ③治療しながら転職・就職 ハローワーク出張相談会
- ④外見ケア ⑤がんサロン がん患者とご家族の語り合いの場

がんに関することならどんな相談でもかまいません。
相談内容の秘密は厳守いたします。

場所：1階患者支援センター奥 日時：午前9時～午後4時(土日祝を除く) 対面または電話相談
予約方法：①患者支援センター受付 ②電話 ③面談予約専用フォーム
※予約優先 予約なしでも相談出来ますが、直ぐに対応できない場合があります



予約専用フォーム ▶

がんサロン「くつろぎ」

場所：1階 講堂(メインホール)
日時：第3火曜日(隔月 不定期) 13時～14時半(要予約) ※開催状況についてはお問い合わせください



人材育成について

充実したキャリア形成支援を行っています

奈良県総合医療センターでは「医の心と技を最高レベルに磨く」ために、個々のキャリアアップおよびスキルアップを支援しています。そのため、法人内の組織である「医療専門職教育研修センター」が建物内に併設されています。医療人としての志しと誇りを高く持ち続けられるように、看護師、薬剤師、各技師に加え、事務職員も含めた全医療職に対してキャリア形成支援を行い「優れた医療プロフェッショナルが協働する医療の提供」を目指します。
例えば、医師の研修では初期臨床研修の管理型プログラム・新専門医制度に準拠した専攻医プログラムを有しており「将来の医療に貢献できる優れた医師」を育成していきます。看護部門では、看護実践力だけではなく、マネジメント能力、自律性開発力、倫理的能力の習得ができる充実した教育カリキュラムにより「主体的に行動できる看護師」の育成を目指しています。このように、奈良県総合医療センターは「将来の奈良の医療を担う人材」を育成することにより、地域社会に貢献して参ります。



教育研修センター メインホール(講堂)



研修医カンファレンス



ICLSコース講習会



新人看護師研修



各階ご案内

各階ご案内			入院棟
			西病棟
7F			
6F		 屋上ヘリポート	東病棟 西病棟
5F	教育研修棟	診療棟 ■手術部 ■麻酔科 ■集中治療部 ■救急・集中治療センター	東病棟 西病棟
4F	■図書・情報センター ■研修室	■管理部門 ■法人本部事務局 ■臨床検査部 ■臨床工学技術部	東病棟 西病棟
3F	■研修室 ■会議室	■眼科 ■耳鼻いんこう科 ■頭頸部外科 ■口腔外科 ■産科 ■婦人科 ■リハビリテーション科 ■周産期母子医療センター ■新生児集中治療部 ■外来化学療法室 ■がんサロン ■リハビリテーション室	東病棟 西病棟
2F		 2F中央受付 ■呼吸器内科 ■循環器内科 ■消化器内科 ■血液・腫瘍内科 ■糖尿病・内分泌内科 ■腎臓内科 ■脳神経内科 ■感染症内科 ■呼吸器外科 ■心臓血管外科 ■消化器・肝胆膵外科 ■乳腺外科 ■整形外科 ■脳神経外科 ■形成外科 ■精神科 ■小児科 ■皮膚科 ■泌尿器科 ■小児泌尿器科 ■小児脳神経外科 ■中央処置室 ■採尿採血室 ■生理検査室 ■血液浄化治療室	東病棟 西病棟
1F	■メインホール（講堂） ■エントランス	  総合受付 ■放射線科（MRI・CT・X線） ■内視鏡室 ■救命救急センター ■小児外科 ■患者支援センター（入退院支援・地域医療連携室） ■がん相談支援センター ■お薬窓口 ■患者相談窓口 ■診断書受付  ATM  公衆電話  コンビニ・カフェ	
B1F		■放射線治療室 ■核医学（RI）検査室 ■薬剤部 ■栄養管理部	

